

日頃より私、渡辺ふじおの議会活動に、ご理解ご支援を頂き心より感謝申し上げます。東日本大震災から3年が経ちました。今なお東北の復興は道半ばであります。また、妻の実家のある福島県の原発被害地域は目処すら立たないまま避難生活を強いられています。政府には復興を加速させ、一日も早く被災者の安穏な日々が取り戻せるよう被災者家族のいる立場として、微力ではありますが国に働きかけ続けていきたいと思っております。また、杉並区においても首都直下型地震が想定される中、震災以降、様々な取組みを行なってまいりましたが、地域の防災力を更に高め区民の皆さまに安心して暮らしていただけるよう区と力を合わせ、より高度な防災対策を進めていきます。



UR 荻窪団地跡地に特養ホーム



超高齢社会を迎え、区としても様々な高齢者対策を加速させていく方針を固めました。特に待機者が増え続ける特別養護老人ホームの増設は急務であり、今後1000人分の施設増設に向け取り組んでいます。区内での用地確保が難しい中、UR 荻窪団地跡地北側に、地域からも強い要望を頂いていた念願の特養ホームの建設が決定しました。来年3月に着工、平成28年5月開設予定となっています。これからは在宅支援を強化するため、地域包括ケアを強力に推進してまいります。

浸水被害調査実施

毎年のように浸水被害が発生している善福寺川沿い荻窪周辺地域の被害状況は、これまで詳細な調査が行なわれていませんでした。そこで、河川及び下水道を管理する東京都に対し、水害対策を推進させるため、詳細な被害状況を把握する必要があると訴えてきました。そして昨年、荻窪2丁目から4丁目地域を区職員が戸別訪問し、聞き取り調査をおこないました。都はこの結果を受け、特に内水氾濫被害の多発する地域に、貯留施設の設置を具体化させていくことを決めました。



成田東地域に認可保育園建設決定

区は待機児解消を目指して保育施設の設置を進めていますが、成田東地域においては、阿佐ヶ谷住宅の建替えによる児童の増加が見込まれることから、新たに4丁目に用地を取得しました。当面は阿佐ヶ谷南保育園の建替えによる仮園舎となりますが、2年後に開設を予定しています。

阿佐ヶ谷アニメストリートがオープン

3月末、JR 阿佐ヶ谷駅と高円寺駅間の高架下に、15店舗の専門店が軒を連ねた日本初のアニメ商店街が誕生しました。またひとつ、アニメの振興に取組む杉並区の新たな名所が加わりました。現在、地元商店会との連携を進めています。区のアニメ振興のシンボルとして、また地域活性化の起爆剤として、まちづくりに活用してまいります。



平成 25 年度及び 26 年度予算で実現！

河川カメラ映像のネット配信

ゲリラ豪雨による河川の急激な増水の状況映像をリアルタイムでネット配信し、浸水被害の軽減を図ります。



レアメタル回収事業開始

金銀やレアメタルの有効活用を図るため、携帯電話やデジタルカメラなどの小型家電15品目の回収を開始しました。選別・分解作業は就労準備訓練として就労支援センターで実施。

次世代トップアスリートの育成

区が進める次世代育成基金事業へ、オリンピック・パラリンピックに向けたトップアスリート育成、支援プログラムが加わります。



中学校部活動支援の充実

専門の外部指導員を配置し、継続的で安定的な部活動の推進を図ります。

理科教育の充実

子どもたちの理科への関心、科学的思考力、表現力等を高めるため、「(仮称)理科実験サポートチーム」を設置します。

杉並区区立施設 再編整備計画

区は時代とともに変化する区民ニーズへの的確な対応と、将来にわたっての持続可能な行財政運営を維持するため、老朽化等による更新次期を迎える区立施設の再編整備計画を策定しました。



第1次実施プランの方向性

- 当分の間、需要の増加が見込まれる保育施設の整備
- 子ども子育て支援新制度を踏まえた児童館の再編
- 高齢化の進展に伴う特別養護老人ホーム等の整備
- 老朽化や耐震性等の課題があり更新の緊急性の高い施設の整備



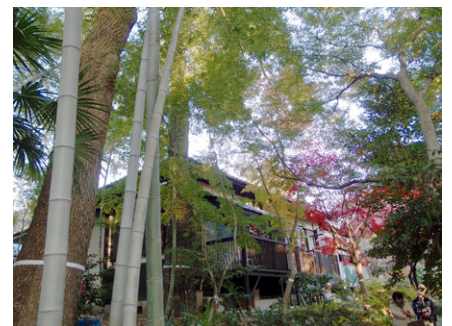
大宮前体育館がオープン

体育館、武道場、トレーニングルーム、健康増進プール等を備えたスポーツ拠点として、また敷地内には消防団の防災倉庫、コミュニティ施設を併設した地域体育館です。

戦前前後、歴史的な役割を果たした荻窪2丁目の荻外荘(旧近衛邸)を区で取得し、公園として地域に解放することとなりました。開園は平成29年度末を予定しています。近隣の太田黒公園、玄戯山房(すぎなみ詩歌館)と共に、貴重な観光資源としての活用が期待されます。

仮称荻外荘公園設置事業

トピックス



区民相談はお気軽に

mail.info@w240.net